



## 『大切なこと』

新型コロナ禍の世の中で、あらゆる行事の中止が相次いでいます。そんな中、新田保育園ではどのように運動会を進めていくか、5月の休園中から職員は話し合いを何度も重ねてきました。人が集まることでの制限があるものの、子どもたちにつけたい力、大切に育てるべき心はなくしてはいけないという思いでした。さらに2か月間の休園を踏まえ、年度始めに立てた各クラスの年間保育目標を再度、立て直しました。しかし、運動会は形を変えて取り組むことが決まってからも、思うように取り組みは進んでいきませんでした。何故ならいつもは4月から始まっていた集団作りや身体作りの経験が、今年はできないまま、秋を迎えていたからです。それでも、限られた時間の中で子どもたちと職員は、懸命に過ごしてきました。

運動会当日、去年は入場に緊張し、トラック内に入るだけでも精いっぱいだった子が自分の名前を呼ばれるのを待ち構えて返事をしていました。地面の砂いじりが楽しくて体操そっちのけで座っていた子が、満面の笑みで体操をしていました。先生に抱かれて落ち着きを保っていた子が、友だちと手を繋いで参加していました。新型コロナ禍の中でも子どもたちはしっかりと、今まで積み上げてきたものを自信や見通しに変えて、今を迎えていたのです。「かっこいい所をみせたい」という思いから、自分自身を輝かせていたのです。

子どもたちに運動会を終えての感想を聞いてみました。殆どの子どもたちが「たのしかった」と話していた事が印象的でした。「どうして楽しかったの？」と問うと「いろんなことできたから」「みんな（友だち）がいたから」「ゆうほどうでもはしってね、はしるのすきになったから」「リレーでまけてくやしかったけど、さいごのうんどうかい、やれたから」と、運動会を行った事に大きな意味があったと改めて感じました。そして、前だけをみている子どもたちに、『大切なことは何なのか』教えられたような気もしました。きっと、これからの行事も一つ一つ進め方に頭を悩ませることでしょう。それでも、いつでも子どもを真ん中にその時の育ちを存分に発揮できるよう、私たち保育者は何ができるのか？考えて進めていけたらと思います。

最後になりましたが保護者の会のみなさま、子どもたち、職員に温かなメッセージをありがとうございます。今後とも子どもの大きくなっていく過程を一緒に支え、共有していけたらと思います。

(文責 石井 あゆみ)

## 11月の予定



11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
				避難訓練		健康体育			ぞう個人面談				誕生会・写真の日					健康診断(0・5歳児)	就学児健診(5歳児)	おみせやさん				ダンスの日			どて写真の日(雨天中止)			ごみゼロ運動(りす・ぞう組)			りす組個人面談(12/4)